



本屋大賞

ノミネート作品発表

本屋大賞とは、全国の書店員が自分で読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票して決める賞です。一次投票の結果、上位 10 作品が二次投票ノミネート作品と決定しました。今後このノミネート作品を対象に二次投票を実施し、4月に「本屋大賞」を発表します。<投票対象は 2023年 12月 1日～2024年 11月 30日の間に刊行された(奥付に準拠)日本の小説(判型問わずオリジナルの小説)>

本屋大賞HP <https://www.hontai.or.jp>

『アルプス席の母』

早見 和真/小学館

『カフネ』

阿部 暁子/講談社

『禁忌の子』

山口 未桜/東京創元社

『恋とか愛とかやさしさなら』

一穂 ミチ/小学館

『小説』

野崎 まど/講談社

『死んだ山田と教室』

金子 玲介/講談社

『spring』

恩田 陸/筑摩書房

『生殖記』

朝井 リョウ/小学館

『成瀬は信じた道をいく』

宮島 未奈/新潮社

『人魚が逃げた』

青山 美智子/PHP研究所

Supported by

NOLTY®

手帳ブランドNOLTY[ノルティ]は本屋大賞を応援しています。

書籍名五十音順